

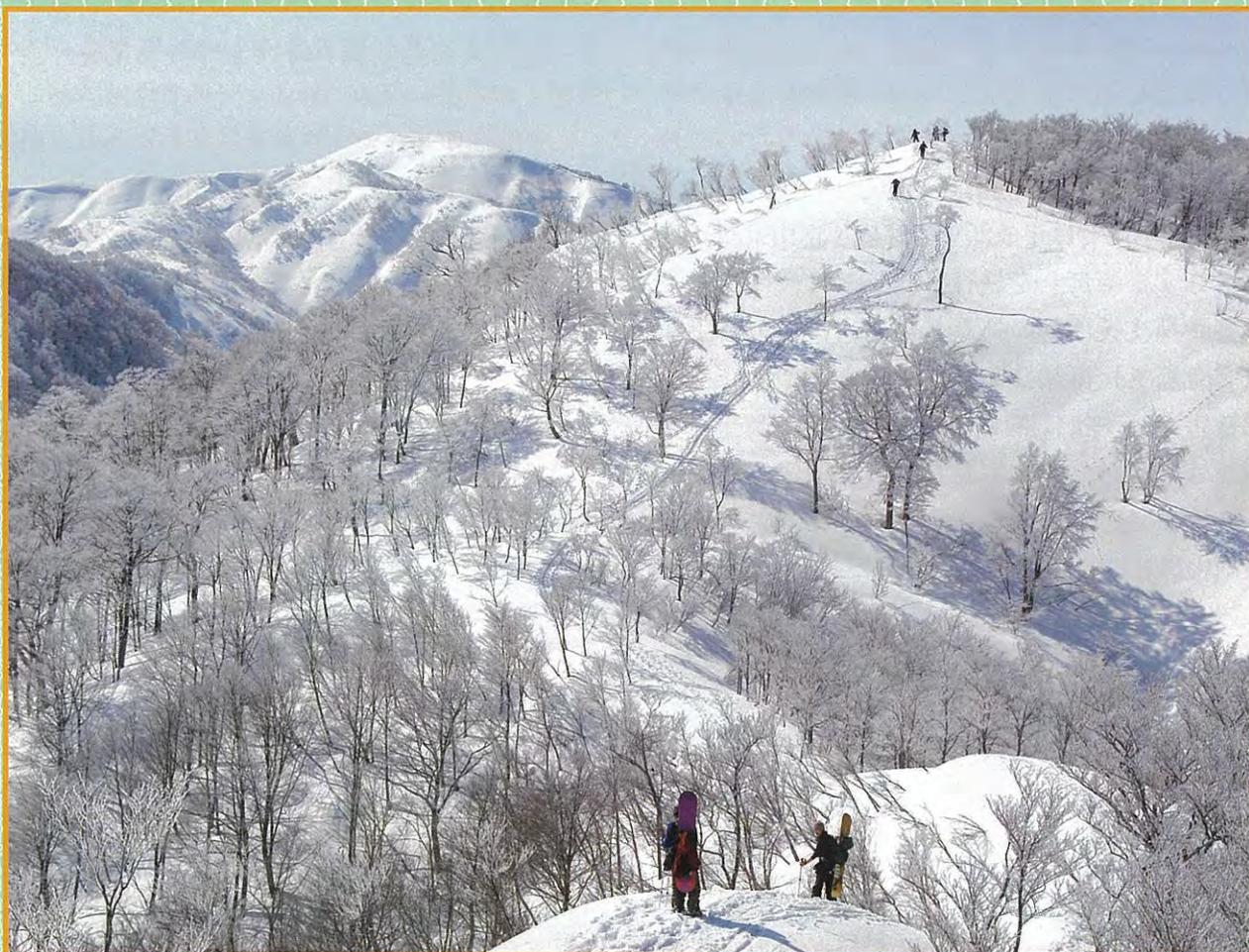
TOYAMA VICTIM SUPPORT CENTER



公益社団法人

# とやま被害者支援センターだより

2022. 3. 3 発行 第38号



南砺市利賀 金剛堂山を目指す人達

(南砺市 南 勇雄 氏 提供)

## 令和3年度犯罪被害者週間「被害者支援講演会&コンサート」開く

この自動販売機の売上金の一部は  
犯罪被害にあわれた方・ご家族・ご遺族の

**支援のために**  
役立てられます。

{とやま被害者支援センター}

### 自動販売機の清涼飲料水1本からできる被害者支援

とやま被害者支援センターでは

新規に、又は既存の自動販売機を被害者等支援(寄付型)自動販売機に切り替えていただける「個人・団体・企業・各種学校様」を広く募集しています。

被害者等支援(寄付型)自動販売機を設置していただいた際には、左のパネルを自動販売機正面に設置させてもらっております。

## ワンチームによる更なる被害者支援活動の推進について



富山県生活環境文化部長

出来田 肇

とやま被害者支援センターの皆様方には、犯罪被害者やそのご家族・ご遺族への様々な支援活動に献身的に取り組まれておりますことに、感謝と敬意を表しますとともに、被害者支援活動各般にわたり、ご支援・ご協力をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、本県では平成29年4月に「富山県犯罪被害者等支援条例」を施行、同年8月には、犯罪被害者等支援活動の拠点となる、「富山県犯罪被害者等支援協議会」を設立するとともに、犯罪被害者等支援に関する県の施策等を取りまとめた「支援指針」を策定し、関係機関・団体の皆さんと緊密な連携のもと、犯罪被害者等支援活動の推進に努めているところです。

特に性犯罪被害者支援対策については、被害直後から総合的な支援を一元的に行うことにより、早期の心身の負担軽減を図るとともに、被害の潜在化を防止するため、平成30年に、「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」を設置し、性暴力被害等に関する専門的な知識と経験を有する助産師等を配置、昨年4月からは、常勤支援員を増員したほか、若年被害者等が相談しやすい環境整備のため、SNSを活用した相談方法も導入したところです。

また、とやま被害者支援センターと県では、毎年、犯罪被害者週間（11月25日から12月1日）に合わせて、街頭における広報キャンペーンの

実施や、年間を通して県下全市町村を巡回する犯罪被害者等支援巡回パネル展を開催するなど、県民に対する犯罪被害者等への配慮や協力への意識の醸成に努めているところです。

しかしながら、センターをはじめとした、犯罪被害者支援団体の活動や相談窓口の認知度は未だ低いことから、犯罪被害者の現状や各種支援活動等について、社会に周知させるための広報啓発活動など、更なる被害者支援活動の推進を図る必要があります、今後の課題として認識しているところです。

県では、今後とも、「富山県犯罪被害者等支援協議会」を中心に、関係機関・団体の皆様方としっかり、ワンチームによるスクラムを組んで、犯罪被害者等支援に関する課題や情報を共有するとともに、犯罪被害者等に対する県民の理解の増進や支援を担う人材の育成など、犯罪被害者等支援施策の効果的かつ円滑な実施に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、とやま被害者支援センターのこれまでの活動に、改めて感謝申し上げますとともに、支援団体の中核としてさらなるご発展、会員及び関係者の皆様方のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

## 令和3年度犯罪被害者週間 「被害者支援講演会&コンサート」報告

犯罪被害者支援の必要性を広く県民に呼び掛けるため、当センターは「犯罪被害者週間」にあわせ昨年11月26日、富山市牛島新町のインテックビル「タワー111」（スカイホール）において「被害者支援講演会&コンサート」を開きました。新型コロナウイルス感染症対策を十分に取り、100人が出席しました。

津嶋春秋当センター理事長、田平有紀子富山県警察本部警務部長のあいさつに続いて、令和3年6月の社員総会をもって理事長を退任された四十物直之顧問に富山県警察本部長から「感謝状」が授与されました。講演会では、自身も犯罪被害者遺族で東京都被害者等支援専門員の辻內衣子さんが講演。辻内さんは「人としての権利と尊厳を守る支援がすぐに受けられるように、関係機関の連携が必要です。」などと訴えました。

コンサートでは別本裕子さん（バイオリン）、中野悠里さん（ピアノ）が「愛の挨拶」「赤とんぼ」などを演奏し、会場内を心和ませるムードに包みました。終わりに牧田和樹当センター副理事長があいさつをしました。



開会挨拶

とやま被害者支援センター理事長  
津嶋 春秋



来賓挨拶

富山県警察本部警務部長  
田平 有紀子氏



四十物前理事長



バイオリンとピアノによるコンサート状況

別本 裕子氏（バイオリン）  
中野 悠里氏（ピアノ）



閉会挨拶

とやま被害者支援センター副理事長  
牧田 和樹

## 基調講演 (タワー111スカイホール) (11月26日)

講演  
テーマ

### 「被害者遺族の視点から 今後の支援に期待すること」 ～自治体と連携した被害者支援の 方向性について～

講師

つじ うち きぬ こ  
**辻内 衣子さん**

(東京都総務局人権部人権施策推進課被害者等支援専門員)



#### 【講師紹介】

2000年(平成12年)12月、自転車で帰宅途中の辻内さんの夫(当時46歳、一橋大教授)が軽トラックを運転していた男にひき殺される事件が発生。男は傷害致死罪で起訴され、一審では懲役7年の判決を受けたが控訴。二審の公判開始前に拘置所で自殺したため裁判は終結した。辻内さんは東京都中野区の保健師をしていたが、この時の辛い体験をもとに勤めながら犯罪被害者支援に取り組み、現在は都の被害者等支援専門員(コーディネーター)として被害者や遺族からの相談にあたっている。

#### 【要旨】

私が勤めていた中野区は2008年(平成20年)に犯罪被害者等相談窓口を設置し専任の相談員を配置して以来、支援の充実に努めてきました。2020年(令和2年)には市区町村でも早くに「中野区犯罪被害者等支援条例」が施行され、支援金支払い、弁護士費用の助成、ホームヘルパー派遣などの支援が始まりました。

#### 「窓口を身近な存在に」

私が被害に遭遇した当時、中野区のような条例があったなら、どのような支援が受けられたでしょうか。現在、犯罪被害の相談窓口はほぼ100%の自治体に設けられていますが、実際に相談を受けている窓口はごくわずかです。住民の方々にも知られていません。相談に当たる窓口をバックア

ップする機関もありません。「条例化」の比率は県レベルでは高いものの市区町村では20%台にとどまっています。

東京都が条例化するにあたって設置した有識者懇談会に私も呼ばれ、条例化への要望を述べました。

その時は

- ① 被害者への経済的支援としての見舞金支給
- ② 性犯罪被害者など転居が必要な人への支援
- ③ 関係機関をつなぐ役割を都に果たしてほしい以上の3点を要望しました。

#### 「尊厳を守る支援を」

これらは条例や都の施策に採り入れてもらうことができました。

また、今年度から各機関の調整を担う「コーディネーター」の配置も始まりました。自治体の支援につなげる場合は、その窓口にはまず私たちコーディネーターが出向いて個別に相談内容を伝えるようにしています。

裁判が終了すると、支援のつながりが切れてしまうことを心配する人が多くいます。人は人によって傷つけられるが、その回復も温かい人間関係の中でされていくものです。支援は一方向でなく多機関が連携して進めるよう気を配らなければなりません。今後かわいそうな人を助けるという姿勢ではなく、人としての権利と尊厳を守るための支援を目指したいと思います。

## 令和3年度「大切な命を守る」全国中学生・高校生 作文コンクール【警察庁長官賞】受賞作文

### 未来に繋ぐ命

富山県立高岡工芸高等学校三年 <sup>たか</sup>高 <sup>た</sup>田 <sup>あい</sup>愛

「ひとりの命が奪われた」「ひとつの命が奪われた」といった表現をよく目にするが、違和感を覚えないうだろうか。私はずっとこの表現に引っ掛かっていた。なぜなら、命を落とした人だけでなく、未来に繋がっていくはずだった命も同時に奪われたと感じるからだ。

私はこの作文を書くにあたって被害者・支援者の方の講演録を読んだ。それぞれ事件の内容は違えど、共通していたことは事件から長い月日が経った今でも深い悲しみの中にいるということだ。事件を知らない私でも、講演録を読んでいるだけで事件が映像化され、頭の中を巡り、辛くなった。

その中でも、飲酒・ひき逃げ事件によってご子息を亡くされた高石洋子さんの講演録は、読んでいて胸が張り裂けそうになった。高石さんのご子息は早朝の新聞配達のアルバイトに向かう途中、飲酒運転をしていた男性によってひき逃げをされ、命を奪われた。

高石さんのご子息は、当時の私と同じ高校二年生という若さで命を落とした。家族はもちろん、友人や先生といった多くの人々が悲しみにくれた。もしも、飲酒運転をしていた人にひき逃げされたという形で友人を失うことを想像したら、悲しさと悔しさで胸がいっぱいになった。

高石さんは家族やご子息の友人に支えられ、助けられたそう。「励ましの言葉、共に悲しみながらも前を向こうとしている人たちの姿を見ると自分も頑張らなければと思えた」とおっしゃっていた。その一方、傷付くこともあったそう。

その原因は、主に言葉によるものであった。言葉は様々な形に変化して相手に伝わってしまうこ

とがある。悪意のない発言でも、形を変え、針となって心を刺してしまうことがある。言葉は一番簡単に伝えられる表現だからこそ、慎重に選ぶべきだと思った。

私は、昨年の命の大切さを学ぶ教室に参加して抱いた思いをこの講演録を読んで再び抱くことになった。それは、加害者はするいということである。この事件の加害者は飲酒運転をしていたが十時間以上の逃走によってアルコールが検知されず罪が軽くなった。加害者は逃げて得をしてしまうことがあるのだ。だが、被害者は命を落としてしまう。加害者がすぐに救急車を呼んでいれば、助けられたかもしれない命。それが加害者の自分勝手な保身のために消えてしまうのはおかしい。

もし、高石さんのご子息の命が助かっていたら、今どのような生活を送っていただろうか。結婚をして家庭をもち、子宝に恵まれていたかもしれない。未来ある命がこのような形で奪われたことはとても悲しいことである。

私たちの命は自分ひとりだけのものではないのだ。将来、結婚して子供が誕生するとする。そして、今度は子供が結婚して、孫が誕生するとする。このように考えると命はとても尊いものではないだろうか。私たちの命は未来に繋がっていくのだ。

また、多くの人に「自分の代わりは存在しない」と考えてほしいと思った。自分自身が誰かにとってかけがえのない存在だと気づいてほしい。

目に見えない命は突然、死という形で目に見えない状態になる。死という形になってから命に気づいても遅いのだ。だから私は命の尊さをひとりでも多くの人に早く気づいてほしいと思っている。

# 活動報告

令和3年10月～令和4年2月

## 支援活動状況

(令和3年4月～12月)

	相談の方法					計
	電話	メール	手紙	面接	その他	
殺人(傷害致死)	39	1	1	5	0	46
強制性交等(準含)	26	0	0	10	0	36
その他の性的被害	5	0	0	0	0	5
暴行・傷害	5	0	0	1	0	6
交通死亡事故	29	1	1	13	0	44
交通事故	3	0	0	1	0	4
財産的被害	7	0	0	0	0	7
その他	38	0	0	1	0	39
計	152	2	2	31	0	187

## 第2回事例検討会

当センター(10月7日)



アドバイザー：大久保恵美子理事  
(全国被害者支援ネットワーク顧問)

○個々の被害者に対する直接的な支援状況及び相談電話への対応状況を検討。

## 第2回継続研修

Zoom使用 当センター(10月13日)

研修テーマ：心理教育とは。その必要性和留意点等

講師：成澤知美 先生

(公社)被害者支援都民センター

公認心理師、臨床心理士

- リモート講義の後、学んだ心理教育を生かした3人一組のロールプレイを実践。  
(経験を積まれたボランティア対象)



## 第3回継続研修

当センター(12月14日)

研修テーマ：電話相談対応要領とロールプレイ

講師：高野佳子 先生

当センター犯罪被害相談員

- 新人ボランティアの皆さんが、ローテーションで「相談者」「支援者」「観察者」となるロールプレイを実施し、電話相談の対応を体験。



▶ 広報啓発活動

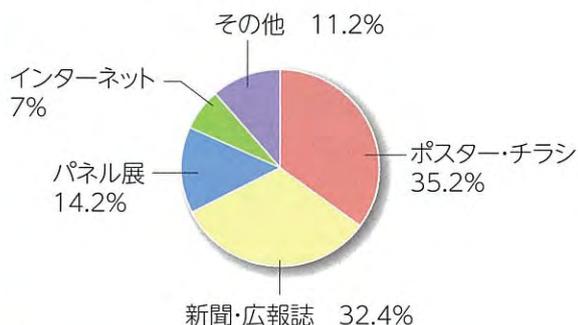
◆ 県下15自治体等における「犯罪被害者支援巡回パネル展」を実施

(令和3年7月5日～令和4年1月21日)

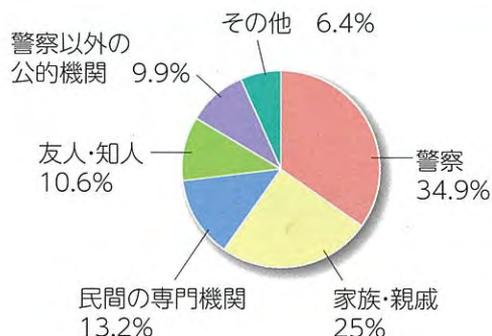
7月	朝日町役場	富山県自動車学園(入善校、富山校)
8月	南砺市役所	富山市役所 富山県自動車学園(高岡校)
9月	魚津市役所	射水市役所 入善町(入善ショッピングセンターコスモ21)
10月	滑川市役所	富山県自動車学園(滑川校) 立山町(元気交流ステーションみらいぶ)
11月	小矢部市役所	黒部市役所 氷見市役所 アピタ富山店
12月	砺波市役所	高岡市役所 上市町(つるぎふれあい館)
1月	舟橋村(舟橋会館)	

令和3年度「犯罪被害者支援巡回パネル展」アンケート最終結果

当センターを知った経緯



被害に遭った場合の相談先



◆ 県内自治体広報誌による広報

黒部市、滑川市、上市町、高岡市、氷見市、南砺市、小矢部市の広報誌11月号等に相談案内掲載。富山市と射水市のご厚意により当センターの相談案内を広報誌に毎月掲載。

◆ タウン情報誌による広報

県内のタウン情報誌「まんまる11月号」に広報案内を掲載。

◆ 屋外掲示板による広報

JR富山駅南口の歩道に掲示(11月22日～12月5日)



◆ 富山県犯罪被害者等支援協議会による広報

(富山県、富山県警察、富山市、当センターなど)

富山地方鉄道電鉄富山駅(11月25日)



### ◆県警察と連携した広報

県警察本部・富山中央警察署との合同広報  
(11月14日)

11月14日 環水公園内「親水広場」での広報状況

富山西警察署との合同広報  
(10月11日、10月15日、10月20日)

富山南警察署との合同広報(11月10日)

富山県警察音楽隊コンサート会場での広報(11月11日)

高岡警察署との合同広報(11月24日)



11月24日 高岡駅南北通路での広報状況

### ◆マスコミを介した広報



■被害者支援の実態学ぶ  
富山 富山市保護司会(梅野守雄会長)の上新川・婦負両支部は同市下大久保(大沢野)の大久保ふれあいセンターで合同研修会を開き、市内の保護司や民生委員ら約60人が犯罪被害者支援の実態を学ぶ。写真。事件や事故の被害者とその家族を支える民間団体「とやま被害者支援センター」の小山重一事務局長が講演。犯罪や苦しみは画面すると説明し、途切れない支援の必要性を訴えた。

富山市保護司会の上新川・婦負両支部研修会において、当センター局長が「途切れることのない被害者支援」を呼びかけ  
(10月19日付北日本新聞)



「犯罪被害者等の支援」に特化した市町村条例制定を求める声が高まっていることを伝える新聞記事  
(1月5日付北日本新聞)

### ◆命の大切さを学ぶ教室



11月12日  
県立志貴野高等学校  
3年生60名参加



1月21日  
私立富山国際大学  
1年生120名参加(リモート)



2月15日  
私立富山国際大学付属高等学校  
3年生240名参加(リモート)

ご厚意に感謝します。

(令和4年1月31日現在)



## 自動販売機設置状況

### ●設置協力者様（協定書締結）（順不同、敬称略）

学高岡第一学園 高岡法科大学  
 国立大学法人 富山大学（富山市五福）  
 株北陸銀行（2台）（越前町支店、丸の内支店）  
 株アピアスポーツクラブ（2台）（富山市稲荷元町）  
 富山県庁  
 富山県警察（警察本部、運転教育センター  
 交通機動隊、14警察署）  
 氷見観光開発株（2台）（氷見カントリークラブ）  
 北陸電気工業株（6台）（富山市下大久保）  
 株小松製作所氷見工場（2台）（氷見市下田子）  
 北日本放送株式会社（3台）（富山市牛島）  
 学富山県理容美容専門学校（2台）（富山市下新町）

富山刑務所  
 株富山環境整備（9台）（富山市婦中町吉谷）  
 三菱ケミカル株富山事業所（富山市海岸通り）  
 有西条観光（島尾キャンプ場）  
 道の駅福光株（道の駅福光）  
 学富山県自動車学園（5台）  
 （富山校、高岡校、黒部校、砺波校、滑川校）  
 氷見観光開発株（2台）（氷見カントリークラブ）  
 氷見まちづくり株（3台）（ひみ番屋街）  
 北陸職業能力開発大学校（魚津市川縁）

### ●協力飲料水メーカー様（協定書締結）（順不同、敬称略）

北陸コカ・コーラボトリング株  
 サントリービバレッジソリューション株  
 株コーシン  
 富山ヤクルト販売株  
 株ジャパンビバレッジ  
 株伊藤園  
 株ダイドードリンコ北陸



## 自動販売機の新設

令和3年11月22日  
 滑川市柳原41-1  
 公益財団法人 滑川市体育協会 様  
 滑川市スポーツ・健康の森公園（2台）



ご寄付ありがとうございました。



### ○ 富山県警察本部警備部機動隊 隊員一同 様

船木隊長と隊員  
 （右から2番目が隊長）

## ホンドリング ～本で広がる支援の輪～



～本でひろがる支援の輪～

### ホンドリング

あなたのご寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。  
あなたが不要になった本・CD・DVD・ゲームで、  
事件や事故に遭われた方々を支援できます。

**ホンドリングとは?**  
あなたの本・CD・DVD・ゲームソフトが、  
犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用されます。

**ホンドリングの流れ**

STEP 1 本・CD・DVD・ゲームソフトを寄附する  
STEP 2 寄附品を査定し、必要に応じてクリーニングや修理を行います  
STEP 3 寄附品を販売し、その売上金を犯罪被害者支援活動に活用します

このような本などが支援につながります

本の種類

ISBNコードが  
付いている本  
CD・DVD・ゲームソフト  
雑誌  
漫画  
児童書  
参考書  
辞書  
図鑑  
辞書  
図鑑  
辞書  
図鑑

参加方法：まずはお電話ください ☎(076)413-7820

公益社団法人とやま被害者支援センター 〒930-0858 富山県牛島町5番7号  
http://www.toyama-shien.com

ホンドリングとは、皆さんから不要になった本やCD等を寄贈していただき、その売却代金をご寄付として、犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるプロジェクトです。

昨年は「本1,100冊、CD122枚、DVD14枚」などのご寄付がありました。

今年も引き続きご支援、ご協力をお願いします。

以下の本等などは取り扱えませんので、  
ご注意願います。

ISBNのない2012年以前の本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、漫画雑誌、一般雑誌、企画品番が付いていないCD等は取り扱えません。



## イオン黄色いレシートキャンペーンにご協力ください。



毎月11日にイオン高岡南店でお買い物をされ、受け取られた黄色のレシートを、店内に設置された投函コーナーの「当センターのボックス」に入れていただきますと、レシート合計金額の1%相当額の物品が、イオンリテール株式会社様から当センターに寄贈されます。

当センターでは、それを支援活動等に有効活用させていただいておりますので、皆様のご協力をお願いします。

## 募金箱の設置をお願いします。

現在、県内64箇所に当センターの募金箱を設置させていただいています。

当センターでは、募金箱を設置させていただける施設や企業、団体のご協力をお願いしております。

県民の皆様が募金にご協力いただくことにより、被害者支援活動に貢献し、被害者等の方々の支援をすることになります。

